

当院は下記の調査を実施しています

課題名

当院外来通院中の関節リウマチ患者における疾患活動性（CDAI・DAS28）評価システム導入による日常診療の質向上に関する研究

—関節エコー所見と合わせて—

調査の目的・意義

関節リウマチの患者さんの重症度は疼痛スケールや身体機能を組み合わせた客観的評価スコアで判断されます。評価スコアの計算は複雑であり、普段の外来の中で計算をすることは困難でした。そのため、当科では客観的評価スコアを、電子カルテとリンクさせて自動で計算するリウマチ診療支援システム（MiRAi）を導入し、客観的評価スコアが電子カルテ上にて自動で表示されるようにしました。客観的評価スコア導入前後での、関節リウマチ患者さんへの治療アプローチに変化があったかを調査し、より良い診療を患者さんに提供することを目的としています。

調査の方法

当院リウマチ科外来通院中の関節リウマチ患者さんで、令和3年4月1日から令和5年3月31日までに通院された方が対象となります。下記の調査項目についてMiRAi導入前と後で比較し、後方視的に解析することで、治療強化までのスピードや、重症度が高い方への適切な治療が行われているかを検討します。新たにお願いすることはありません。

▶ 調査項目

- 年齢（生年月）、性別、妊娠の有無、喫煙歴、肺合併症の有無、悪性腫瘍の有無
 - 血液検査：リウマチ因子、抗CCP抗体、MMP3、CRP、ESR、eGFR
 - 生物学的製剤・JAK阻害薬の使用の有無、疾患活動性など
- *患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

※ 調査への参加を希望しない場合には、お手数ですが下記の調査責任者へご連絡ください。

調査責任者：リウマチ膠原病科副部長 山本真理 TEL :052-652-5511